

63

天理大学 ライブラリー同好会

学生選書

5月12日、ジュニア等書目選出にて学生選書が開催されました。学生選書は、応募した学生たちが、自ら本を選び、天理大学内にある情報ライブラリーに加える本を選定することを目的とした企画です。この企画は年に2回行われます。

ライブラリー同好会のメンバー7名のイベントに参加しています。現在、同好会は日本文学部国文学科歴史文化学科に所属している学生が中心です。それ以外の所属に所属した本を選びました。また、天理大学に外国語学科があるのも、その学生たちも同じに海外の本や外国語で書かれた本を選びました。さらに、学部/学科に関係なく各々が好きなテーマの本や小説、資料関連の本も選びました。

結果、豊富な作品や様々なジャンルの書籍など、幅広い本を情報ライブラリーの蔵書に加えられました。

初参加した人の感想

「自分たちの読みたい本を選び、それを情報ライブラリーに置くことが出来るという企画は、とても興奮で学生のための企画だと感じました。他の学生たちもぜひ参加してもらい、より楽しい場所を一緒に作りたいと思いました。

「とても大きな本屋さんに行って、数多くの本を自分たちの手で選ぶという、面白い経験ができました。毎年、春と秋に行っているようなので次回も参加したいです。

「初めて参加しましたが、学生が図書館の本を選定するのが新鮮な体験で、とても楽しかったです。

図書館でのボランティア活動

私たちは、インストラクターの「三浦サヨコ様」の協力の元で、桜井市立図書館と御所市立図書館で開催されたイベントの運営ボランティアに参加しました。イベントの中心は、「ボードゲームで遊ぼう」で、多くの参加者が集まり、大変盛り上がりました。桜井市立図書館は過去3回、御所市立図書館では過去2回参加、運営しました。

御所市立図書館では、運営補助員約60人、桜井市立図書館では、150人を超える参加者が集まりました。また、桜井市立図書館の職員は、「PDI」草創図書館内で行われているボードゲームイベントの中で日本語です。

イベントの準備は、ボードゲームが好きな大人や親子連れが、こちらで用意したゲームで、参加者の声かけもほとんどがゲームを通じて、ボードゲームを通じて、親子のふれあいの場所や、交流関係を築ける場所になり、有意義な時間を過ごすことができています。

また桜井市立図書館の取り組みは、2023年11月一回、御所市立図書館では、半年に一回の開催になっており、これからも、引き続き行う予定です。

学生協働フォーラム

また、先日、天理大学にて天理大学が主催する学生協働フォーラムが開催されました。この日、天理大学の協働している天理大学の図書館が中心となり、天理大学の学生たちの参加を行い、協働を行いました。そして、卒論のテーマで、アンケートや交流会などを行い、協働を行いました。

さらに、天理大学の協働のテーマを決定していただきました。その際、天理大学でテーマについて協働の報告を行いました。他の大学の協働は、自分たちの協働で行っている人もあり、とても有意義になりました。

交流では、天理大学協働への協働内容を詳しく、また、イベントの開催で協力する方もいました。

最後に、協働でもあった、天理大学内の協働イベント「ボードゲーム」の開催についてお知らせしました。このイベントは、2023年11月、2024年1月、2024年3月で開催予定です。天理大学協働としての協働の場として、協働を行います。